

様

「辺野古埋め立て」代執行を許さない！ 南西諸島の軍事要塞化を許さない！ 11.23 沖縄も日本も戦場にさせるな！国会正門前アクション 賛同のお願い

政府は最高裁の不当判決に基づき、玉城デニー沖縄県知事に「設計変更申請」を承認するよう「勧告」、「指示」を行いました。知事が毅然と拒否したので、10月5日に政府が代わりに承認するための「代執行訴訟」を提訴し、年内にも大浦湾側の埋め立て工事を強行しようとしています。

「代執行訴訟」は、地方自治法で定められている手続きです。ただし、放置すれば「著しく公益を害すること」が明らかな場合に限られています。

玉城知事の不承認の決定は、技術的に不可能な軟弱地盤の改良工事から生物多様性豊かな自然環境を守るためのものであり、工事の長期化により普天間飛行場の危険性の早期除去につながらないからです。知事の決定は、公有水面埋立法に基づく厳正な審査で沖縄県民の公益を守るものです。むしろ技術的に不可能な基地建設を強行する政府こそ「著しく公益を害する」元凶と言わねばなりません。「代執行訴訟」の提訴は、地方自治法に違反する暴挙であり許せません。

また、政府は米国の中国包囲戦略に追随して「台湾有事」を煽り、沖縄島・宮古島・石垣島・与那国島・奄美大島にミサイル部隊の配備や自衛隊基地の建設・増強を推し進め、さらに将来、中国を攻撃できる長距離ミサイルの配備も強行しようとしています。

政府は台湾有事を「安保法制」で定めた「存立危機事態」として、米国と中国の戦争に自衛隊を参戦させようとしています。

日米両政府の対中国戦略は、南西諸島を中心に戦場にする戦争計画です。アジア太平洋戦争の時のように、沖縄を切り捨てる戦争計画です。しかし、いざ戦争になれば日本全国も戦場になります。

沖縄県は中国等との平和外交を進めています。また県民は「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」を結成し、思想・信条・世代を超えて「争うより愛しなさい」「争いより対話を」のスローガンを掲げて、11月23日に万規模の「県民大集会」を開催し、県民の大結集で沖縄を戦場にさせないために立ち上がっています。

私たちは、沖縄からの呼びかけにこたえて、辺野古新基地を許さない闘いと南西諸島の戦場化を許さない闘いを一体のものにとらえて、「国会正門前アクション」を行います。

「本土」では、沖縄県民が戦争に巻き込まれることへの危機感が、残念ながら少ないと感じられます。戦争の最前線に立たされている沖縄県民のたたかいに連帯し、日本が「戦争をする国」に進む流れを止めるために、何としてもアクションを成功させなければなりません。

集会の経費として、会場の音響代、チラシ代など多くに費用がかかります。このアクションの成功に向けて、参加と賛同金のご協力をいただきますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

※賛同金（個人）1口 1,000円以上（団体）1口 2,000円以上 下記いずれかで手続きください

（1）郵便振替口座

*（口座番号）00180-3-177458（加入者名）ピースボート

*通信欄に、「11.23集会賛同金」「賛同者名(個人・団体)」「公表の可否」を記載ください。

（2）ゆうちょ銀行振込口座

*記号番号（振替）00180-3-177458（当座）〇一九店 177458

*振込人を賛同者名(個人・団体)とし、アタマに「1123」をつけてください。例：1123ヤマダタロウ

賛同いただいた個人・団体名は、当日配布するプログラムに掲載させていただきます。

【呼びかけ】 「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会
<https://humanchain.tobihiro.jp/> E-mail: henokovoice.echo@gmail.com